

☆ 世 界

綿 花 低い綿花価格が長期的な課題へ

ICAC(国際綿花諮問委員会)によると、2014/15年度の世界の綿花消費は前年を上回る成長が予測されているものの、綿花生産が綿花消費を170万トンを上回る見通しであるため、2014/15年度の期末在庫は前年度比9%増の2,130万トンに増加する見通しとなった。近年最低水準であった2009/10年からは2.47倍の水準に増加している。

2014/15年度の在庫比率(消費に占める在庫の比率)は、87%まで上昇する見通しであり、中国の備蓄政策が始まる前の2011/12年度の47%から大きく上昇している。今後、世界の綿花生産の伸びが十分に抑制され、綿花の消費が好調に伸びると仮定しても、この高い在庫水準が適切な水準まで落ち着くには数シーズンを要する見込みである。中国以外の国の在庫は前年度比20%増の900万トン近くに達し、過去30年で2番目に高い水準となる見通し。在庫増は、綿花生産国が中心であり、その結果、世界の綿花輸出は15%減の750万トンとなる見通し。

綿花価格は、昨春、北半球の農家の作付け時点では、綿花価格は歴史的な平均価格を上回っており、トウモロコシなどの競合作物の価格に比べ高い水準であったため、北半球の綿花の栽培面積は3%増の3,350万ヘクタールに増加した。しかし、中国や南半球での綿花生産が減産する結果、世界の綿花生産は1%減の2,610万トンとなる見通し。綿花政策の変化と綿花価格の下落が主要国の綿花生産に大きな影響をもたらした。中国の生産は7%減の640万トン、ブラジルの綿花生産は10%減の150万トン、オーストラリアの生産は47%減の47万トン。一方で、インドは気候に恵まれ横ばいの680万トン、中国を上回り世界最大の綿花生産国となる見通し。米国は23%増の350万トンと他国地域の減少を補う形となった。

綿花価格は、昨春の90セント/ポンドから12月には70セントまで下落した。綿花価格の下落によって、綿花消費は喚起され、前年度比4%増の2,440万トンとなる見通し。前年度は1%減の2,350万トンであった。国別の綿花消費をみると、低位の綿花価格によって、中国は6%増の800万トン、インドは、中国からの綿糸輸入鈍化のため、4%増に減速し、530万トンの見通しである。

世界の綿花需給見通し

(100万ト)

	2013/14	2014/15	2015/16
生産	26.28	26.08	24.55
消費	23.46	24.39	24.67
輸入	8.74	7.53	7.77
輸出	8.86	7.53	7.77
期末在庫	19.56	21.25	21.13
価格*	88	91	72

Cotlook A インデックス(セント/ポンド)価格は、中国を除く世界の在庫率の見通し、中国の綿花輸入見通し等をもとに推計した。

☆ ベトナム

繊維輸出

繊維品輸出 15.8%増---2014 年

ベトナム統計局によると、2014 年のベトナムの繊維品輸出は前年同期比 15.8%増の 207.7 億ドルとなった。

一方、同期間の主要繊維品の輸入は、綿花は 22.7%増の 14.4 億ドル、糸類は 3.0%増の 15.6 億ドル、織物類は 14.0%増の 95.1 億ドルとなった。なお、数量ベースでの綿花輸入は、28.9%増の 75.0 万トであった。

ベトナムの繊維品貿易

(100 万ドル、%)

	2014 年	前年比
繊維品輸出	20,767	15.8
繊維品輸入		
綿花	1,438	22.7
糸類	1,563	3.0
織物類	9,506	14.0

2014 年の主要繊維品生産をみると、織物類は、綿製が前年同期比 16.9%増、化合繊維製が 5.4%増、衣類生産は 9.1%増となった。また、生産指数でみると、紡織産業は前年比 20.8%増、衣類産業は 11.8%増と、ともに 2 桁の伸び率となっている。

ベトナムの繊維産業生産指数(前年同期=100)

	2014年12月	2014年年間
紡織品	130.2	120.8
衣類	110.1	111.8

ベトナムの主要繊維品生産 (%)

品目	単位	2014年	前年比
綿織物類	100万m ²	331.8	16.9
化合繊維物類	100万m ²	727.9	5.4
衣類	100万点	2,980	9.1